

# ぬかただより

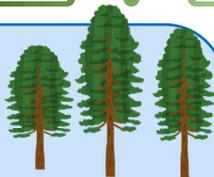
岡崎市立額田図書館

夏号 No. 47

2018年6月発行

- **夏** ですね。おおだの森も青々として、心なしか本棚の木目も輝いて見える今日この頃です。さて、額田図書館の本棚やカウンターは地元の檜ひのきを利用して作られました。朝、本棚の間を通るとほのかに爽やかな檜の香りがします。木は家具になっても呼吸をされていて、日を浴びる朝に一番香りが強くなるのだそうです。今回は檜について特集してみました。

## 檜ひのきとは？



英名：Japanese Cypress

生息域：日本中部～九州。台湾、米国に近親種あり。

語源：諸説あり。燃えやすい木であることから、『火の木』とする説。幹と幹が風でこすられたことによる自然発火も確認されています。

古来より日本では良いものを『ヒ』と呼び、最高級の木として『ヒ』の木とする説。檜舞台は歌舞伎や能の舞台に使われており、晴れの場という意味でも使われます。

## 胸毛が檜に



歴史書『日本書紀』によると、スサノオノミコトという神様が「この国に様々な木を植えよう」と、体の毛を抜いて散らしました。するとヒゲは杉に、胸毛は檜ひのきに、お尻まきの毛は榎くすのきになり、眉毛は楠になりました。人々にそれぞれの木の使い方を教え、檜は宮殿の材料にするのが良いと伝えたと記されています。

鎌倉時代になって檜が少なくなるまで、神社やお寺は主に檜で建てられていたようです。

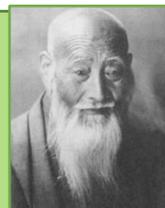
## 結晶化する檜



檜の持ち味は伐採されてから強くなる性質にあります。切られると同時に細胞の結晶化が始まり、200年かけて固くなり、1000年かけて元の固さに戻っていきます。

現存する世界最古の木造建築である法隆寺も檜で作られています。建立されてから1300年余り、宮大工の西岡常一さんは「檜でなければこの時代まで存在していなかっただろう」と話しています。法隆寺に使われている柱は、年輪から推定すると樹齢1000年相当。紀元前に生まれたであろう木が、今なお法隆寺を支えています。

## 額田の森を子に孫に



明治時代、額田の山林保護に取り組んだのが宮崎村の初代村長、山本源吉です。当時行われていた山焼きの廃止、杉や檜の植林計画を制定し、苗の無償配布や助成金を出すなど額田の林業に貢献しました。また、林業かぞえ歌を自作し、『一本伐ったら七本植えよ』を村民の先頭に立って実践しました。

2011年の調べでは岡崎市の人工林の内、檜の比率は62.8%。全体の半分以上を占めています。子孫に山林を残そうという山本源吉村長の志を額田の山々を通してみることが出来ます。

## 参考資料

『檜』 有岡 利幸/著 法政大学出版局 653.6/ヒ

『法隆寺を支えた木』 西岡 常一 ほか/著 日本放送出版協会 521/ホ

『ふるさと読本 ぬかた 第3版』ふるさと読本『ぬかた』編集委員会/編

額田町教育委員会 A293/フN

# おはなし会のお知らせ



毎月第2土曜・第3木曜の  
朝 10:30~11:00 に  
おはなし会（えほんの読み聞かせ）  
を開催しています。  
※木曜は0.1.2歳のちいさいこ向けの  
絵本を読みます。

## 【夏の開催日】

6/9(土)、6/21(木)、7/14(土)、  
7/19(木)、8/11(土)、8/16(木)

## 夏号のおすすめ本

### ちいさいこむけ

『ぞうきばやしの すもうたいかい』

広野 多珂子／作 廣野 研一／絵 福音館書店 E/ソ

はやしのなかで むしたちの すもうたいかい。

みあって みあって、のこった のこった。

むしたちが とくいわざで しょうぶ！ まるまったり くさかったり  
とびまわったり…。どのむしが つよいかな。



### 小学生向け

『はりねずみのルーチカ』

かんの ゆうこ／作

北見 葉胡／絵 講談社 913/カ

はりねずみのルーチカはジャムを作るため、もぐらのソルと一緒にあかすぐりの実をさがしに行きました。その帰り道、フェリエの森にやってきた新しいなかまに出会います。森のなかまが集まって、新しい友だちのかんげいパーティーの始まりです。

額田の森にもルーチカのような動物たちが、季節のジャムを作ったり、パーティーを開いたり、楽しく暮らしているかも。ちょっとのぞいて見てみたいですね。



### YA 向け

『歩いてわかった地球のなぜ!?!』

松本 穂高／著 山川出版社 450/ア

「なぜ、ニューヨークが大都会に?」「なぜ、赤道に雪が降るの?」

筆者が旅先で感じた疑問を、自然環境と人々の生活から解いていきます。科学的な理由の説明は少し難しく感じるかも。でも、「ペンギンが南半球だけにいるのは、気温ではなくエサに関係している。」など、興味がわく内容です。「自然や地理っておもしろい!実際にしてみたい!」そんな気持ちになる一冊です。



ひのき  
檜で作った家具は年月の進みで白から<sup>あめ</sup>飴色に変わっていくそうです。今は真っ白な檜の本棚、月日を経て飴色の光沢を得るまで、皆様に愛される図書館でありますように。額田図書館スタッフ一同、皆様のご来館を心よりお待ちしております。



岡崎市立額田図書館

榎山町字山ノ神 21 番地 1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。

